

請願第 3 号

小中学校給食無償化を求める請願

2024 年（令和 6 年）8 月 29 日

伊勢市議会議長 藤原 清史 様

住所 伊勢市

氏名 伊勢市の小中学校給食無償化を求める会

代表 池田 実

紹介議員

福井 輝夫

川口 浩

楠木 宏彦



< 請願趣旨 >

学校給食は、子どもの心身の健全な発育と発達を保障し、人間の基本である食事、食文化を伝える教育の一つの柱であり、食育の一環として重要な役割を果たしています。安心・安全でおいしい給食はみんなの願いです。

円安などによる急激な物価高騰が暮らしを直撃し、給食費は子育て世帯にとって大きな負担となっています。伊勢市の給食費は、物価高騰分は市により補助していただいています。小学校低学年で年額 47360 円、中学校で 53740 円となっており、多子世帯ともなれば大変です。

政府は「こども未来戦略会議」を発足させ、いくつかの政策を打ち出しました。その中で学校給食について実態調査を行い検討するとしました。その結果が 2024 年 6 月 12 日文科省より発表され、小中学校ともに無償化実施自治体が、全国の 3 割にあたる 547 自治体となり、2017 年度の調査から 6 年で約 7 倍に増えていることが分かりました。

憲法 26 条は「義務教育はこれを無償とする」と明記しています。この憲法の本質に立てば、学校給食も無償とするのが本来であり、国の責任で給食費無償化を早急に実施すべきと私たちは考えます。

東京都では都が 2 分の 1、区が 2 分の 1 を負担し全 23 区で無償化が 4 月から実施されました。小池都知事は「国がするまで先行して実施する」と話しています。

また青森県は県単位で 10 月から実施します。三重県でも 5 市（志摩、熊野、いなべ、伊賀、尾鷲）5 町（大台、南伊勢、紀宝、御浜、紀北）が実施しており、一部補助、期間限定など工夫されている市町もあります。一層無償化を求める声が高まっています。

無償化に必要な 4 億 7000 万円は、市の一般会計予算の 1% 以下です。これをどう捻出するか私たちに妙案はありませんが、学校給食を無償にすることは子どもへの直接支援です。署名活動をしていると署名に応じてくださった方から「ありがとう」というお礼の言葉をいただいたり、また高齢の方からも「給食ぐらい無料にせななあ」と多くの賛同を得ました。市民の無償化への強い要望を感じます。

給食費の無償化は子育て世代、若い世代を励まし、「子育てしやすい伊勢市」をさらに進めることとなると思います。

以上のことから、日本国憲法第 16 条及び地方自治法第 124 条の規定により伊勢市議会に対し賛同者 5620 名（8 月 28 日現在）の署名を添えて請願致します。

< 請願事項 >

小中学校の給食費を無償にしてください